



■ 名 前 (ふりがな)	東 崇史
■ グループ名	大野市開成中学校 理科部
■ 学校名	大野市開成中学校
■ 学 年	2 年
■ 年 齢	14 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	牛嶋和代 (開成中学校 理科部顧問) 長谷川幸治 (本願清水「イトヨの里」研究員)

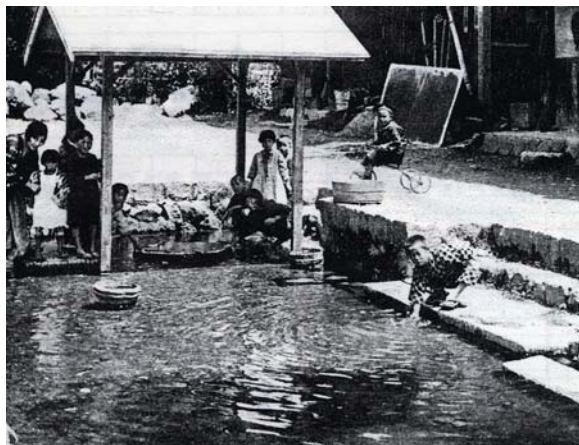
■ レポートした場所	福井県大野市にある御清水
■ レポートの題名	Very Beautiful 御清水
■ 内 容	<p>私達開成中学校の理科部は、福井県大野市にある御清水について調べた。御清水は、環境庁の「名水 100 選」に選ばれている。御清水の周りには、江戸時代に武家屋敷町があり、「殿様清水」とも呼ばれていた。</p> <p>御清水では昔は、飲み水として使われただけではなく、果物や野菜を冷やしたり、洗濯をしたりしていた。ここの周りには数々の井戸があって、人々はこの井戸も使っていたが、この御清水が一番使われていた。今では、もうほとんどの井戸の水がかれはてていて、水が出ない。そのため近所の人々は、御清水で水を飲んだりしているだけであり、生活に密着していない。むしろ観光地となっている。</p> <p>この御清水の水はとってもきれいで、水温が夏冬とも一定で低い。それは、そこに住む人々が御清水を清潔に保つことをしているためである。</p> <p>御清水は、人々により使いやすいように改善されてきた。当時の御清水はとても広がったそうである。しかし、改善を重ねるごとに水量も減ったことにより、せまくなった。また、昔は雪や雨で御清水の水が汚れたりしていた。そこで人々は、屋根などを作り守りつづけた。</p> <p>しかし、昔にほられた石仏が今もなおその形を変えることなく残っています。御清水には昔から小さい神の社があり、そこに水の神が住人っていて、いろいろな病気に効きめがあると知られてきた。科学や医療の発達した現代においても、御清水の水は様々な病気に効く水と言われたり、不老長寿の水といわれている。人々が各地方からきて、水を持ち帰ったり、飲んだりしている。</p>

昔は、御清水にゴミを捨てることを厳しく注意して、きれいな水を保ってきた。多くの人々は、自家用水としており、井戸も厳しく管理していた。

現在、私達開成中学校では、ボランティアとして御清水に行き、きれいな水を守るために、石を洗ったりごみをとったりしている。今も昔も、御清水を守ろうとする人々の思いは変わっていない。

御清水は、「名水 100 選」に選ばれている大野の貴重な宝である。御清水には、毎年たくさんの観光客でいっぱいなので、これからも汚さないでほしい。今御清水の水が減っている。それは、水の使い過ぎなどにより、地下に水がたまらないからである。水の減少をストップさせるためにも、ぜひとも大野市の住民たちには水の節約を心がけてもらいたい。私たちの学校の理科部は、清掃だけでなく、水質や水温の調査をしたりと考えている。調査したことをもとに御清水の良さを他の生徒や学校外の人々にも伝えていけたらと思っている。そして、この大野の宝を守ってゆきたい。

昭和初期の頃



(「水の民俗」大野市歴史民族資料館)

平成 15 年 8 月



(H, 15 本人撮影)